



平成 27 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン  
(JASDAQ・コード番号：2776)  
代表者名 代表取締役社長 姚 健  
問合せ先 管理部部長 黒田 直樹  
電 話 03-6659-5141

営業外費用(為替差損)の発生及び  
平成 28 年 1 月期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、営業外費用（為替差損）を計上する見込みとなりましたのでその概要をお知らせするとともに、平成 27 年 3 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の内容及びその金額について

期中の為替相場の変動により、外貨建債務等について約 19,000 千円（第 2 四半期会計期間、約 17,000 千円）の為替差損が発生いたしましたので、営業外費用に計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1)平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間(非連結)(平成 27 年 2 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)  
(単位:百万円 %)

|  | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|--|-------|------|------|--------|------------------|
| 前回発表予想 (A)   | 434   | △24  | △26  | △27    | 円 銭<br>△3.77     |
| 今回修正予想 (B)   | 292   | △120 | △136 | △137   | △19.15           |
| 増 減 額 (B-A)  | △142  | △96  | △110 | △110   |                  |
| 増 減 率  | △32.7 | —    | —    | —      | —                |
| (ご参考) 前期第 2<br>四半期累計実績<br>(平成 27 年 1 月期第 2<br>四半期) | 381   | △63  | △61  | 32     | 7.83             |

(2) 平成 28 年 1 月期通期（非連結）（平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）

（単位：百万円 %）

|                              | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|-------|------|------|-------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 925   | 8    | 4    | 2     | 円 銭<br>0.32     |
| 今回修正予想 (B)                   | 752   | △146 | △169 | △171  | △23.90          |
| 増 減 額 (B-A)                  | △173  | △154 | △173 | △173  |                 |
| 増 減 率                        | △18.7 | —    | —    | —     | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 27 年 1 月期) | 594   | △137 | △193 | △100  | 円 銭<br>△19.64   |

### 3. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期累計期間におきましては、厳しい消費マインドの中で推移いたしました。その中卸売事業におきましては、ブランドごと及び得意先ごとに分類し、市場規模に適した戦略を行い、また、販売促進策を提案し営業活動に努めました。

しかしながら、販売計画を下回る結果となりました。

主な要因として、大手得意先である GMS において、得意先の戦略である PB 化傾向の拡大や店頭在庫の消化率低下などの影響から売上高が減少し、カジュアル衣料専門店においても、当初計画していた夏物晩期の企画商品群の商談が纏まらず、売上高を落とす要因となりました。

また、販売計画をしていた一部の商品について、在庫の簿価切下げによる評価変えを行ったこと、また、為替の円安進行に伴う影響及び商品調達先である中国国内の人件費等の高騰から仕入コストが上昇したことにより、売上総利益が減少いたしました。

ライセンス事業におきましては、第 2 四半期累計期間は概ね計画通りに進捗いたしました。

販売費及び一般管理費につきましても、組織強化に伴う費用や、商品企画拡充に向けたサンプル費用等が予定より発生したことにより計画を上回り、営業利益が減少いたしました。

また、1. のとおり外貨建債務等について営業外費用の為替差損が発生したことにより、経常利益及び当期純利益が減少いたしました。

以上の結果、前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。尚、当第 2 四半期以降も厳しい環境で推移することが予想され、当第 2 四半期以降の見通しも勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上